

適応外使用医薬品の情報公開文書

当院では、国内で承認された医薬品を、添付文書に示された使用方法と異なる方法で使用する
場合（適応外使用）には、その適切性、安全性等を「医薬品安全管理委員会」にて審査します。審
査の結果に基づき、下記の治療法については、必要時に速やかに治療を実施することができるよ
う、対象となられる方に事前に同意をいただくことに代えて、病院ホームページにて情報を公開
することとしております。

なお、本件について拒否される場合やご質問がある場合は、主治医へお伝えください。

実施内容	アルコール離脱症状予防に対する向精神薬等の適応外使用
適応外使用する 医薬品の成分（代 表的先発医薬品）	ジアゼパム（セルシン）、ロラゼパム（ワイパックス）
本治療の対象者	アルコール依存患者でアルコール離脱症状が疑われる患者
承認日	2025 年 2 月 26 日
対象期間	承認日以降永続的に使用（必要に応じて見直しを行う）
目的・概要	アルコール依存患者のアルコール離脱症状は大離脱を起こすと死に至ることがあり、早期に適切に予防することが重要です。 セルシン、ワイパックスはベンゾジアゼピン受容体作動薬で、脳内でベンゾジアゼピン受容体作動薬とエタノールの作用する部位が近く、交叉耐性があり、アルコール離脱せん妄の予防薬として使用されます。単独使用では、せん妄誘発のリスクがあり、せん妄予防として抗精神病薬と併用することが推奨されています。セルシンは重度な肝障害の場合、効果が遷延することがありますが、ワイパックスは肝障害時でも使用可能です。 文献、書籍等においても、上記薬剤が治療選択肢として記載されています。
予想される不利 益と対策	各薬剤の添付文書に記載された用法用量に準じて治療を行うため、一般的に想定される副作用と同等と考えられます。副作用が発現した場合、通常の診療にて対応を行い、必要に応じて各専門医へ相談します。